

行政視察報告

文教厚生委員会

(7月3日～5日)

【視察テーマ・視察先】

- ・「部活動の地域移行について」(栃木県佐野市)
- ・「認知症施策と家族支援について」(埼玉県川越市)
- ・「① 高齢者の移動支援ボランティアについて」
「② 地域支え合い型認定ドライバー養成研修について」(神奈川県秦野市)



【参考になった点・所感】

- ・ 随時、情報を共有できる部活アプリを活用し、部活動顧問と地域指導者と連携している。出欠や集金等の管理ができる部活アプリはいくつかの種類があり、本市に合ったアプリを活用すると良いと思った。(佐野市)
- ・ 本人ミーティングでは、認知症の当事者に聞かないと気付けないことを把握しており、話を聞き出すための工夫も必要であると感じた。(川越市)
- ・ ボランティア団体はアンケート調査を実施し、地区に合った活動をしている。市は地域住民が主体的に継続して活動できるよう支援することが重要である。(秦野市)

行政視察報告

総務産業委員会

(7月8日～10日)

【視察テーマ・視察先】

- ・「農協改革の影響について」(福井県越前市)
- ・「JA越前たけふの取り組みについて」(JA越前たけふ)
- ・「①各農家に適した経営モデルの構築について」
「②農産物直売所の適正配置プログラムについて」(東京都小平市)



【参考になった点・所感】

- ・ JA越前たけふの取り組み等により、市農政課の業務は従来の生産面への支援から、販路開拓など販売面への支援に移行した。(越前市)
- ・ 燃料の独自仕入れルート開拓や、JA共済以外の他社の保険も取り扱うなど、挑戦者もしくは開拓者の一面が強く、参考にすべきと感じた。(JA越前たけふ)
- ・ 農業所得別に設定される経営モデルは、農家と相談して作っていた。生産者ではなく経営者を増やすための指導が今後必要になると感じた。(小平市)